

年金「68歳支給」になったら…
実施するなら早く決定を

高山憲之・一橋大学特任教授（公共経済学）の話
読売新聞 2011年10月24日

支給開始年齢を引き上げると、それまで全く年金を受給できないと心配する人が多いが、誤解だ。繰り上げ受給の制度があり、減額はされるが、前倒しで受給できる。それを踏まえた現実的な議論が求められる。いずれにせよ、年金財政を健全化するためには、給付の引き下げか、年齢の引き上げしか選択肢が残っていない。老後の支えとなる年金を目指すなら、給付の引き下げは望ましくない。年齢を引き上げる場合、雇用の確保など環境整備に時間がかかるので、実施するなら早く決定する必要がある。

（取材：林真奈美記者）